

いのちの電話とは

さまざまな悩みや、こころの危機に直面しながら相談する人もなく、孤独の中にいる人たちがいます。「いのちの電話」は、そのような人たちのこころの叫びを受け止め、電話を通してこころの支えになりたいと願って活動している自殺防止のための市民運動です。

研修を受け、認定されたボランティア電話相談員が365日、休まず悩みに耳を傾けています。

ボランティア電話相談員

電話相談は原則として日曜、祝日を問わず、月に2～3回、数時間を担当します。

電話相談員になるためには、週に1回、1年余の講座・研修を受講し、半年間の相談実習を行ったのち、いのちの電話協会の審査認定を受けます。

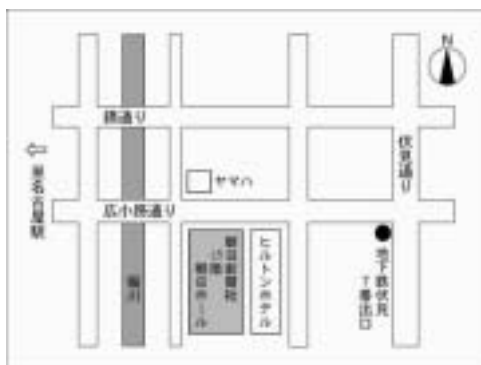
電話相談活動はすべて無給です。交通費、研修費も自己負担です。電話相談員は社会的責任を求められるボランティアです。

相談員は活動中、継続研修やスーパービジョン（精神科医、臨床心理士、カウンセラーなどの支援）を受けることができます。

相談員の声

何か社会のお役に立ちたいと考えて相談員に応募しましたが、実際に相談員として活動を始めてみて、実は私がいろんな事を電話をかけてくださる方から学ばせていただいていることに気がつきました。

電話のかけ手と受け手がこころの深いところで通じ合い「聴いていただいて少し楽になりました」と言ってくださったときは相談員をしていて良かったと、かけてくださった方に感謝しています。（Tさん）



職場から電話センターへ車を走らせると、午後10時までの私の“非日常”が始まる。月に2・3度、回ってくる電話当番日である。

養成講座で学んだ、ただひたすら受話器の向こう側に耳を傾ける傾聴の態度は、私にとってまさに“非日常”、そんな私が最近、職場の仲間から「よく話し聞いてくれるね。」と言われるようになった。「よくしゃべるね・・・」と言われ続けていた私は内心苦笑し、返す言葉をさがす。種明かしが出来ないのである。

（Nさん）

いのちの電話相談員を志して得たものは、相手を思いやるこころ。言葉では表わせられないこころの声に耳を傾け、悩みを抱えて苦しんでいる方に寄り添い、決して一人ではないことを伝えたい。相手のこころを感じることができれば、きっと相手にもこちらの声が届くはずと願っています。（Kさん）

社会福祉法人愛知いのちの電話協会・ 名古屋いのちの電話

461-8691 名古屋東郵便局私書箱第257号
(052) 971-5181 (平日10時～5時)
FAX (052) 961-5004
Eメール: nid@cocoa.ocn.ne.jp

NPO法人岐阜いのちの電話協会

502-8691 岐阜北郵便局私書箱14
& FAX (058) 297-1871 (平日午前中)
Eメール: inochi@ktroad.jp

NPO法人三重いのちの電話協会

514-8691 津中央郵便局私書箱25号
& FAX (059) 213-3975
(平日午後1時から4時)